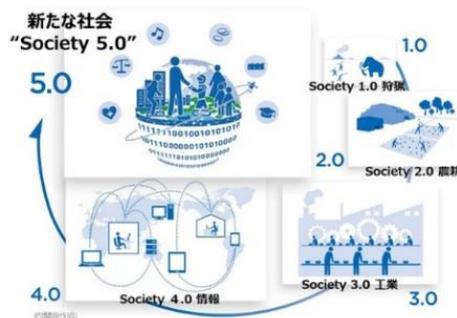


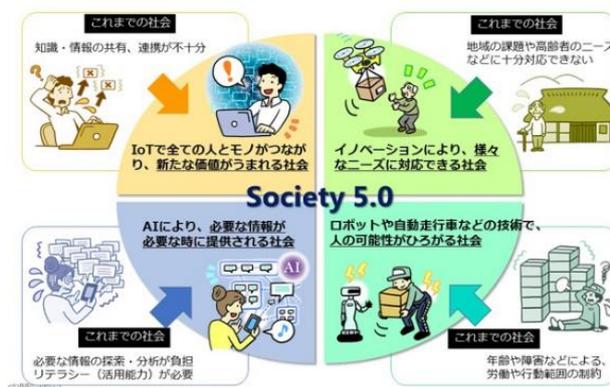
「2020年と2030年を見据えた教育」

全国連合小学校長会長 喜名 朝博

1 全面実施に向けた7つの重要資料（小学校長会連絡協議会資料）



- 資料1 「学校における働き方改革に関する取組の徹底について（通知）」
平成31年3月19日 文部科学政務次官通知
- 資料2 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」
平成31年3月29日 文部科学省初等中等教育局長通知
- 資料3 「新しい時代の初等中教育在り方について」平成31年4月17日 中教審への諮問
- 資料4 「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について（第十一次提言）」令和元年5月17日 教育再生実行会議
- 資料5 「OECD国際教員指導環境調査（TALIS）2018報告書 -学び続ける教員と校長-のポイント」 令和元年6月19日公表
- 資料6 「経済財政運営と改革の基本方針2019」（骨太の方針2019）
令和元年6月21日 閣議決定
- 資料7 「学校教育の情報化の推進に関する法律」令和元年6月28日 公布・施行



※上記の資料のデータは
各県事務局に送付済み

2 全面実施目前6つのチェックリスト

□学習指導要領改訂の趣旨の理解は理解できていますか

- 資質・能力の3つの柱 ○主体的・対話的で深い学びを視点とする授業改善
 - 社会に開かれた教育課程 ○カリキュラム・マネジメント ……
- ⇒ 言葉だけが先行していないか 改めて学習指導要領「前文」の熟読を

□学校の教育目標を見直しましたか

「教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。」（総則第2の1）

□授業時間確保の方策を考えていますか

- 学級活動を除く特別活動の時数、特に学校行事の時数 ○余剰時数の考え方
- 外国語科・外国語活動の指導計画と移行措置期間中の指導の整合性の確認

□カリキュラム・マネジメントは進んでいますか

- ①学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、内容を組織的に配列
- ②子どもの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る
- ③教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる

□新しい評価への対応は進んでいますか

- 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」
「学びに向かう力・人間性等」⇒ 粘り強さ・自己調整力
- 通知表の改訂、指導要録とデータの連動

□学校における働き方改革は進んでいますか

- 学校における働き方改革の本旨…子どもたちと向き合う時間、授業の準備といった本来業務の時間を確保するために、働き方や学校運営、教育課程そのものを見直すこと

3 2030年を考えるための3つの言葉

① 「未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ」

アラン・ケイ（カリフォルニア大学ロサンゼルス校准教授）
・変化に対応する力 ⇒ 変化を創る力

② 「学校の質は、教師の質を超えることはできない」

アンドレアス・シュライヒャー（OECD教育・スキル局長）
・学校の質は校長の質を超えられない

③ 「変わらないことが最も悪い」

奥田碩（トヨタ自動車元社長・会長・元日本経団連会長）
・変化をもたらすためには学び続けなければならない